
私の本当の恋

生時(レジェンド)

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私の本当の恋

【Nコード】

N0368F

【作者名】

レジエント
生時

【あらすじ】

ヤンナーに恋をしたいじめられっこの少年。はたして二人の恋愛はうまくいくのか？

押忍！

私の名は河井美華。

高校一年（ほとんど行っていないが）特技は武道。

彼氏はもう一年くらい、いない。

ある日、暇つぶしに、喫茶店さてんに行ったら、同じ学校に通う中村正一がバイトをしていた。

「み、美華さんいらっしやい」

「アイステイ」

「は、はい」

中村は、見た目は女みたいな感じの男だ。

学校ではよくいじめられているから、何度か助けたことがある。

「アイステイです」

少し震えた手で私に差し出して来た。

「ありがとう」

「あ、あの・・・いつも助けてもらったお礼に、今度の日曜にどこか遊びにでも行きませんか？」

「それって私とデートがしたいってこと？」

「あつ、そのお世話になってるお礼・・・」

「・・・まあ、暇だしいいよ」

理由はどうあれ、コイツから誘われるとは思ってもいなかった。

そして約束の日・・・

彼は約束の時間と場所にすでに来ていた。

映画を見て、食事をし、それからカラオケに行った。カラオケくらいは出すつもりだったが、結局全て彼のおごりになった。

「あゝ楽しかった」

「美華さん」

「何？」

「僕、なんの取りえもないですが、その・・・貴女の事が前から好きでした」

さすがに驚いた。

「私のどこがいいの？」

「優しいし、綺麗だし・・・だから好きです」

コイツの目は本気だった。

今まで付き合った男たちから本気で好きと言われたことはなかった。

「私軟弱な奴は嫌いな」

「・・・そ、それなら僕を強くしてください！まず自分の身くらい守れるように鍛えて下さい！」

「・・・なら目を閉じな」

「はい！」

彼は震えながら目を閉じた。

そして私は、彼に優しくキスをした。

「み、美華さん!？」

「私の彼氏にふさわしい男にしてやるよ」

「はい!」

もしかしたら、これからが私の本当の恋なのかも・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0368f/>

私の本当の恋

2011年1月25日02時59分発行